



**BMW
MOTORRAD**

OPERATING INSTRUCTIONS

ConnectedRide Com U1



MAKE LIFE A RIDE

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリヨウシキベツバンゴウ

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

TEL

ディーラー所在地／電話(スタンプ)

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリ、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。

印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2022 Bayerische Motoren Werke
Aktiengesellschaft

80788 ミュンヘン, ドイツ

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

オリジナル Rider's Manual Printed in
Germany.

装備・仕様に関する詳細情報については、こちらのサイトをご覧ください：[bmw-motorrad.com/equipment](https://www.bmw-motorrad.com/equipment)



BMW MOTORRADの世界へようこそ

BMW Motorrad の純正アクセサリをご購入いただき、ありがとうございました。私たちは常に、当社のアクセサリ製品の世界により、ご要望やご使用の範囲を最適に補強し、冒険においても日常においてもお客様に寄り添うことができるよう努めています。

本書について

新しいアクセサリをご使用になれる前に、本書をお読みください。本書には、当社の製品のあらゆる機能を十分に活かし、最適に使用し、できる限り長く愛用していただけるように操作するための重要な情報が掲載されています。

お問い合わせ

当社の製品に関して、疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合は、BMW Motorrad ディーラーにお気軽にお問い合わせください。

安全で快適なライディングを存分にお楽しみください。

BMW Motorrad.

01 一般的な情報	2	05 MESH INTERCOM	22
全体図	4	Mesh Intercom とは？	24
記号と意味	4	Mesh Intercom を ON にする / OFF にする	24
ConnectedRide Com U1	4	Open Mesh チャンネルを切り替える	24
ご使用上の注意	4	Group Mesh を作成する	25
Bluetooth とMesh	5	コミュニケーションシステム V3 をMesh 通信に追加する	25
健康に関する注意	5	コミュニケーションシステム Fit-for-All をMesh 通信に追加する	25
廃棄	5	Open Mesh とGroup Mesh を切り替える	25
本書の記述について	5	マイクروفोनを ON にする / OFF にする	26
仕様(諸元)	5	Mesh をリセットする	26
02 全体図	6	06 BLUETOOTH INTERCOM	28
納入範囲	8	Bluetooth Intercom とは？	30
操作ユニット	9	2 つのCom U1 をBluetooth Intercom でペアリングする	30
03 取扱方法	10	Com U1 をコミュニケーションシステム V3 とペアリングする	30
安全に関する注意事項	12	Com U1 をコミュニケーションシステム Fit-for-All とペアリングする	31
ソフトウェアをインストールする	12	双方向通話を開始する / 終了する	31
ファームウェアの更新	12	マルチウェイ通話を開始する / 終了する	31
ConnectedRide Com U1 を充電する	12	3 ウェイ電話会議通話を開始する / 終了する	32
LED のステータスメッセージ	13	Group Intercom を開始する / 終了する	32
コミュニケーションシステムを ON にする	13	Bluetooth-Intercom メンバーとのMesh Intercom 会議通話	33
コミュニケーションシステムを OFF にする	13	Universal Intercom を開始する / 終了する	33
音量を調整する	14	Mesh Intercom 会議通話と Universal Intercom	33
リセットを実行する	14	07 電話	36
工場出荷時設定に戻す	14	着信を受ける / 拒否する	38
設定メニューを操作する	15	短縮ダイヤル番号を使用する	38
機能の優先順位	15	スマートフォン音声アシスタント	38
04 ペアリング	16		
他のデバイスとのペアリング	18		
電話をペアリングする	18		
2 番目の電話をペアリングする	19		
拡張されたペアリング	19		
GPS をペアリングする	19		
ペアリング登録を消去する	20		

08 FM ラジオ	40
ラジオを ON にする / OFF にする	42
ラジオモードで音量を調節する	42
ラジオ放送局を切り替えます。	42
ラジオ放送局のサーチおよび登録を行う	42
自動サーチを使用してラジオ放送局を登録する	43
オート放送局サーチ	43
<hr/>	
09 音楽	44
音楽再生の制御	46
音楽をシェアする	46
<hr/>	
10 ソフトウェア設定	48
環境設定	50
<hr/>	
11 お手入れ	54
ConnectedRide Com U1 を清掃する	56
トラブルシューティング	56
<hr/>	
12 テクニカルデータ	58
ボイスコマンド	60
一般的な情報	61
無線接続	61
インターコム	61
バッテリー	61
ラジオ	62
<hr/>	
索引	64

一般的な情報

01


全体図	4
記号と意味	4
CONNECTEDRIDE COM U1	4
ご使用上の注意	4
BLUETOOTH と MESH	5
健康に関する注意	5
廃棄	5
本書の記述について	5
仕様(諸元)	5


4 一般的な情報


全体図


本書の概要およびConnectedRide Com U1 に関する一般注意事項につきましては、この章を参照してください。第 4 章に記載されているように通信システムを使用するには、第 5 章 (▶▶▶ 18) に記載されている「ペアリング」を行う必要があります。


記号と意味

 **注意** リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

 **警告** リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。


 **危険** リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

 **重要事項** 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。

 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

- 作業内容の指示を示します。
- » 作業の結果を示します。
- ▶▶▶ 説明のある参照ページを示します。
- ◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。

 締付けトルク。

 仕様 (諸元)。

CONNECTEDRIDE COM U1


ConnectedRide Com U1 により、次の 3 種類の Intercom モードでのワイヤレス通話接続が可能となります : Group Mesh Intercom、マルチチャンネル Open Mesh Intercom、Bluetooth Intercom。Group Mesh ではプライベートグループ内で 24 名までの通話参加者が通話できます。Open Mesh は、max 8 km 以内の通信有効範囲で、メンバー数はほぼ無制限で利用可能です。新しい様々なチャンネルにおいて、Mesh 2.0 ネットワークを同じチャンネルで利用しているすべてのライダーが通話を行うことができます。定評のある Classic Bluetooth Intercom は Bluetooth 経由での通話を可能にします。

ConnectedRide Com U1 はさらに、Bluetooth 経由で電話、MP3 プレーヤー、GPS デバイスとペアリングすることができます。

このコミュニケーションシステムは車両やヘルメットの種類に左右されず、あらゆる BMW Motorrad ヘルメットに適合します。ただし、BMW Motorrad Bowler ヘルメットと BMW Motorrad Grand Racer ヘルメットは例外です。さらに、ConnectedRide Com U1 は多くの現行の他社ヘルメットにも適合します。ただし、BMW Motorrad はこれに関していかなる保証も行いません。

HD スピーカーはあらゆる状況で理想的な音声をもたらします。音声案内および音声コマンド用の言語は、5 つ以上の言語から選択できます。次の冒険で向かう先がどこであれ、お任せください : ConnectedRide Com U1 がライディング中のあなたと他のライダーをつなぎます。

ご使用上の注意

 地域によっては、モーターサイクル上でヘッドセットやイヤフォンを使用することは法律で禁じられています。走行開始前に必ず、その製品を使用する地域で適用されるあらゆる規定を確認してください。

BLUETOOTH と MESH

作動原理

Bluetooth では、周辺の無線技術が問題となります。Bluetooth 機器はショートレンジデバイスとして、使用料のかからない 2.402 GHz～2.480 GHz の ISM 帯域（産業、科学および医療帯）で通信します。この機能は世界中で無償で利用することができます。

Mesh 無線技術は独自のプロトコルに基づき、Bluetooth に類似した周波数 (2.405～2.480 GHz) を使用しています。メンバーは網目状につながっており（英語：mesh）、シーケンシャルに連結されるものではありません。それにより、Bluetooth 接続の場合と異なり、グループへの接続を中断することなく、コミュニケーショングループ内の順序を様々に変更することができます。

無線接続に関する注意事項

他の無線技術の場合と同様に、Bluetooth でも障害が発生することがあります。接続が障害されたり、短時間中断されたり、まったく機能しなくなることがあります。特に、複数の機器を 1 つの Bluetooth ネットワークで利用している場合、あらゆる状況で操作がスムーズに行われるという保証はありません。

通信精度に影響する要因：

- － アンテナの位置と向き。
- － 実際の障害物（建物、遮蔽物など）。
- － 環境の影響（気象条件、WLAN の電波など）。

健康に関する注意

現在、Bluetooth 機器の使用が人体に悪影響を及ぼすという認識はなされていません。BMW Motorrad コミュニケーションシステムの送信出力は、Bluetooth クラス 1（最大 18.8 mW）の送信出力に相当します。

Bluetooth で使用される ISM 帯域は、産業、科学および医療での使用が世界的に決められており、少ない伝達パワーであるため健康への影響について危険なしとされています。

廃棄



後日、ご利用のコミュニケーションシステムを廃棄したくなった場合：立法機関では、電気機器を家庭ゴミで処分してはならないと定めています。コミュニケーションシ

ステムは、電気製品類を処分するための回収場所にお持ちください。

本書の記述について

BMW Motorrad アクセサリーの高い安全性および品質は、絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述がお買い求めのアクセサリーとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

仕様（諸元）

Rider's Manual に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、ドイツ工業規格 (DIN) およびその許容差規定に基づいて表記されています。国によって仕様が異なる場合があります。

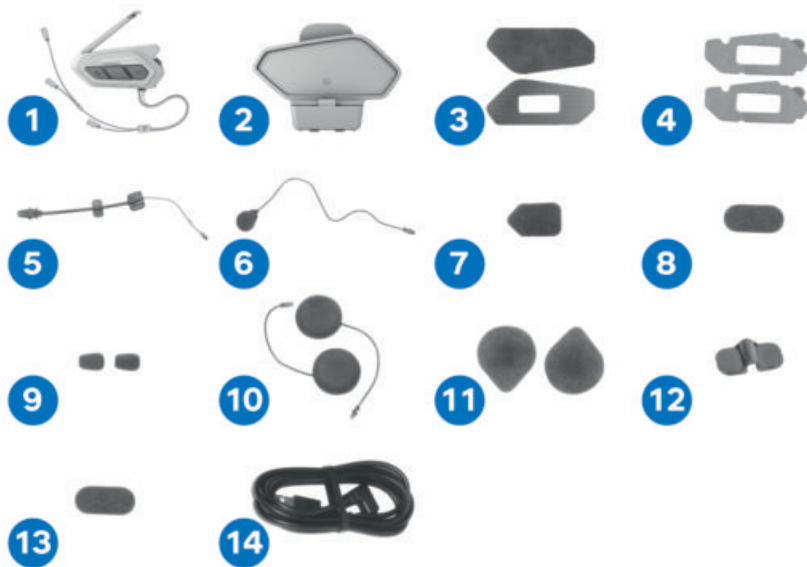
全体図

02

納入範囲	8
操作ユニット	9

8 全体図

納入範囲



- 1 操作ユニット
- 2 操作ユニット用固定クランプ
- 3 操作ユニット固定用ベルクロ
- 4 操作ユニット固定用両面接着パッド
- 5 フレキシブルアーム付きマイクロフォン
- 6 ケーブル付きマイクロフォン
- 7 フレキシブルアーム付きマイクロフォン固定用ベルクロ
- 8 ケーブルマイクロフォンの固定用ベルクロおよびフレキシブルアーム付きマイクロフォン留め具
- 9 マイクロフォンアタッチメント
- 10 スピーカー
- 11 スピーカーセット固定用ベルクロ
- 12 フレキシブルアーム付きマイクロフォン用留め具
- 13 フレキシブルアーム付きマイクロフォン用留め具の固定用ベルクロ
- 14 充電ケーブルおよびデータケーブル

取扱方法

03

安全に関する注意事項	12
ソフトウェアをインストールする	12
ファームウェアの更新	12
CONNECTEDRIDE COM U1 を充電する	12
LED のステータスメッセージ	13
コミュニケーションシステムを ON にする	13
コミュニケーションシステムを OFF にする	13
音量を調整する	14
リセットを実行する	14
工場出荷時設定に戻す	14
設定メニューを操作する	15
機能の優先順位	15

12 取扱方法

安全に関する注意事項

重要事項

有害な環境からの影響または衝撃

損傷のおそれがあります

- 長時間直射日光にさらしたり、高い湿度の中に置いておいたりしないでください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 機器が損傷していたり、通常と異なる様子が見られる場合には使用しないでください(例：熱くなっている、臭いがするなど)。

ソフトウェアをインストールする

Device Manager と Com U1 アプリを使用して、ConnectedRide Com U1 用の設定を行うことができます。

Device Manager をインストールする


BMW Motorrad のウェブサイト上で、Device Manager を無償でダウンロードすることができます。Device Manager により、最新のファームウェアを ConnectedRide Com U1 コミュニケーションシステムにロードすることができます。同様に、コミュニケーションシステムでの設定も行うことができます。

アプリをインストールする

iOS および Android スマートフォンでは、対応するアプリストアで Com U1 アプリを無償でダウンロードすることができます。

Com U1 アプリでは、Device Manager などと同じ設定にすることができます。

ファームウェアの更新


 初めて使用なさる前には必ず、Device Manager で ConnectedRide Com U1 のファームウェアを更新する必要があります。


ConnectedRide Com U1 を USB-C ケーブルを使用して PC に接続することにより、コミュニケーションシステムのファームウェアを Device Manager で更新することができます。


初めてご使用になる際には、ご使用前にファームウェア更新が可能かを確認し、更新を実行してください。

最初のファームウェア更新は Device Manager を使用して実行される必要があります。その後の更新はアプリでも可能です。

CONNECTEDRIDE COM U1 を充電する

 デバイスが長期間にわたって使用されない場合、バッテリー性能は時の経過と共に衰えます。

 バッテリーの寿命は、デバイスが使用されている条件、環境要素、使用する機能やデバイスに応じて異なります。

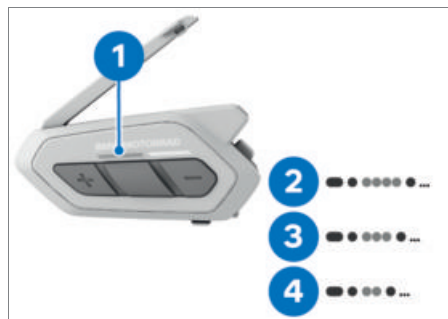
 急速充電機能を使用するには、承認されている急速充電可能な電源を使用する必要があります。

ConnectedRide Com U1 は USB-C ケーブルを使用して充電することができます。フル充電するには約 1 時間かかります。充電時間は使用される充電方法によって異なります。

急速充電機能

- 充電所要時間 3.5 時間の Mesh Intercom の場合：20 分
- 充電所要時間 6 時間の Bluetooth Intercom の場合：20 分

LED のステータスメッセージ



コミュニケーションシステムを ON にすると、LED 1 によって充電ステータスが表示されます。

LED のステータスメッセージには下記の意味があります：

2

- LED (赤) が 4 回点滅。
- バッテリーは完全に充電された状態です。

3

- LED (赤) が 3 回点滅。
- バッテリーは半分ほど充電されている状態です。

4

- LED (赤) が 2 回点滅。
- バッテリーレベルは低い状態です。

使用中に充電レベルが低くなると、音声案内「バッテリー Low」によって通知されます。

コミュニケーションシステムを ON にする



システム音声はデフォルトでは英語に設定されています。ご希望の言語に変更すると、選択された言語での音声案内が行われるようになります。



- ボタン 1 と 2 を同時に 1 秒長押しします。
- » こんにちは。
- » コミュニケーションシステムは ON の状態です。
- コミュニケーションシステムが ON にならない場合：
- コミュニケーションシステムを充電します (▶▶▶ 12)

コミュニケーションシステムを OFF にする



- ボタン 1 と 2 を同時に 1 回タップします。
- » さようなら。
- » コミュニケーションシステムは OFF の状態です。
- コミュニケーションシステムが OFF にならない場合：
- リセットを実行します。 (▶▶▶ 14)

14 取扱方法

音量を調整する

前提条件

Com U1 は ON の状態です。





注意


通信システムの音量が大きすぎる

他の交通参加者にも聞こえることで事故を起こす危険（特に特殊車両）、聴覚障害の危険

- 通信システムの音量は環境認識ができるように設定します。

 BMW Motorrad は、走行前にモバイル端末機器のメディアおよび通話の音量を最大に設定することを推奨します。


 音量は各オーディオソースで個別に調整可能です。選択された音量は、一旦 OFF にしてから ON にした後も維持されています。

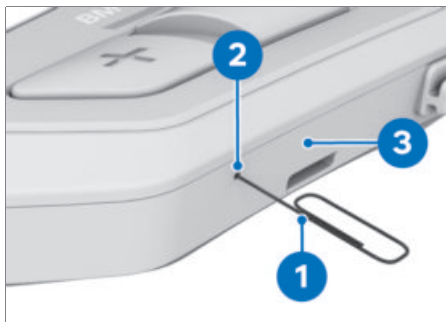
 耳に衝撃を与えたり聴力が損なわれたりしないようにするため、ヘルメットをかぶる前に、音量が適切に調節されていることを確認してください。



- ボタン 1 を押します。
 - » ボタン操作に応じて音量が上がります。
- ボタン 2 を押します。
 - » ボタン操作に応じて音量下がります。

リセットを実行する

 リセットが実行されると、コミュニケーションシステムは停止します。設定やペアリングは消去されません。デバイスはリセットも再び通常通りに ON にすることができます。




- ペーパークリップ 1 をピンホール 2 (メインユニット 3 の下側にある) に差し込んで、リセットボタンを軽く押します。
 - » コミュニケーションシステムが OFF になります。

工場出荷時設定に戻す

前提条件

Com U1 は ON の状態です。

 コミュニケーションシステムが工場出荷時設定にリセットされます。変更が行われたすべての設定、言語設定、ペアリングが消去されます。



- ボタン 1 を 10 秒長押しします。
 - » 設定メニュー
- ボタン 2 を 2 回タップします。
 - » 設定初期化
- ボタン 1 を 1 回タップします。
 - » リセット。さようなら。
 - » 工場出荷時設定に戻った状態です。

設定メニューを操作する



ボタン 2 を 10 秒長押しすると、設定メニューが開きます。

ボタン 1 または 3 を短くタップすると、設定メニューが前後にスクロールされます。

下記の項目を選択することができます：

- 1: 携帯電話をペアリングする
- 2: 2 番目の携帯電話のペアリング
- 3: 選択された携帯電話とのペアリング
- 4: メディアペアリング
- 5: GPS のペアリング
- 6: すべてのペアリングを削除する
- 7: リモートコントロールをペアリングする
- 8: Universal Intercom ペアリング
- 9: 工場出荷時設定
- 10: 終了

処置 6-10 は確定後に初めて実行されます。確定を行うには、ボタン 2 を 1 回タップします。確定が行われない場合、コミュニケーションシステムは 8 秒後に自動的に設定メニューを終了し、音声案内「J」が流れます。

機能の優先順位

あらかじめ優先順位が決まっている各種機能：

- 携帯電話
- 音声コマンドモード
- Mesh Intercom/Bluetooth Intercom
- Bluetooth ステレオミュージックを使用して一緒に音楽を聴く
- FM ラジオ
- Bluetooth ステレオミュージック

優先順位の低い機能は、常に優先順位の高い機能によって中断されます。たとえば、

Mesh Intercom や Bluetooth Intercom 経由での通話は、常に携帯電話の着信によって中断されます。

ペアリング

04

他のデバイスとのペアリング	18
電話をペアリングする	18
2 番目の電話をペアリングする	19
拡張されたペアリング	19
GPS をペアリングする	19
ペアリング登録を消去する	20

他のデバイスとのペアリング





警告

走行中の Bluetooth ペアリング

方向転換により事故を起こす危険

- Bluetooth ペアリングは車両停止時にのみ行ってください。

 Bluetooth の標準化とそれによって多数の機器の互換性が高いレベルで実現されるにもかかわらず、入手可能な Bluetooth 対応機器すべての正常な機能を保証することはできません。

 BMW Motorrad は、2 名を超えるメンバーの相互通信を行いたい場合には、MESH Intercom に切り替えることをお勧めします。

ConnectedRide Com U1 は、複数の Bluetooth デバイスとペアリングすることができます。3 つ以上の BMW Motorrad コミュニケーションシステムとペアリングする場合には、MESH Intercom に切り替える必要があります。その際には、ConnectedRide Com U1 のみが Mesh Intercom 機能を使用できることを確認してください。他の BMW Motorrad コミュニケーションシステム (コミュニケーションシステム V3 またはコミュニケーションシステム Fit-for-All など) は Com U1 経由でのみ Mesh Intercom に追加することができます。さらに、ConnectedRide Com U1 は電話、MP3 プレーヤー、GPS デバイスとペアリングすることができます。

MESH Intercom 接続はそれらを自動的に検知します。ペアリングは、Mesh Intercom 用には必要ではありません。

Bluetooth Intercom 接続は自動的に検知し、ペアリングはそのまま存在し続けます。

複数のデバイスが Bluetooth Intercom 経由でペアリングされている場合、最後に接続されたデバイスとの自動接続が行われます。




Intercom 接続は 3 つまで保存登録されます。3 つの接続のうちの最後の接続を選択するには、スタンバイモードおよびデバイスの通信有効範囲内で、ボタン 1 を 3 回押します。

電話をペアリングする

前提条件

Com U1 は ON の状態です。

 このペアリングは下記の接続用に選択することができます：TFT ディスプレイ (TFT ディスプレイ装備車) との接続、スマートフォンとの接続、オーディオプラットフォーム (オーディオプラットフォーム装備車) との接続。




- ボタン 2 を 10 秒長押しします。
 - » 設定メニュー
- ボタン 1 を電話のペアリング用に 1 回タップします。
 - » 電話ペアリング
 - » LED が青と赤で交互に点滅している場合、デバイスが携帯電話に表示されます。

- 電話の Bluetooth を有効にし、検知されたデバイスのリスト内で項目 Com U1 を選択します。
- PIN 照会の際には「0000」を入力します。

2 番目の電話をペアリングする

前提条件

Com U1 は ON の状態です。

 必要に応じて、2 番目の携帯電話を電話、音楽を聴くこと、またはナビゲーション用に接続することができます。BMW Motorrad コミュニケーションシステムのボタンが制御するのは、最初の携帯電話のみです。



- ボタン 2 を 10 秒長押しします。
- » 設定メニュー
- ボタン 1 を 2 番目の電話のペアリング用に 2 回タップします。
- » 2 台目の電話をペアリング
- » LED (青) が点滅している場合、デバイスは検知可能な状態です。
- 電話の Bluetooth を有効にし、検知されたデバイスのリスト内で項目 Com U1 を選択します。
- PIN 照会の際には「0000」を入力します。

拡張されたペアリング

前提条件

Com U1 は ON の状態です。

前提条件

ハンズフリープロフィールを A2DP プロファイル (メディア) から切り離すため、拡張されたペアリング設定を使用して電話をペアリングすることができます。このとき、BMW Motorrad TFT ディスプレイまたはナビゲーション機器と組み合わせる必要はありません。




- ボタン 2 を 10 秒長押しします。
- » 設定メニュー
- ボタン 1 をハンズフリープロフィールでの電話のペアリング用に 3 回タップ、A2DP プロファイル用に 4 回タップします。
- » 電話選択ペアリング またはメディア選択ペアリング
- » LED が点滅している場合、デバイスは検知可能な状態です。
- 電話の Bluetooth を有効にし、検知されたデバイスのリスト内で項目 Com U1 を選択します。
- PIN 照会の際には「0000」を入力します。

GPS をペアリングする

前提条件

Com U1 は ON の状態です。

 Bluetooth インターコム経由の通信はナビゲーションユニットの指示により中断されます。Mesh Intercom 通信は中断されません。ナビゲーションユニットの指示は、品質が損なわれることなく、Mesh Intercom 経由での通信中に行われます。

20 ペアリング



- » すべてのペアリングを削除する
- ボタン 2 を 1 回タップします。
- » すべてのペアリングが消去されています。

- ボタン 2 を 10 秒長押しします。
- » 設定メニュー
- ボタン 1 を GPS のペアリング用に 5 回タップします。
- » GPS ペアリング
- » LED（緑）が点滅している場合、デバイスは検知可能な状態です。
- GPS ナビゲーション画面で Bluetooth を有効にし、検知されたデバイスのリスト内で項目 Com U1 を選択します。
- PIN 照会の際には「0000」を入力します。

ペアリング登録を消去する

前提条件

Com U1 は ON の状態です。すべてのペアリング登録が消去されます。Com U1 とのペアリング登録は、Com U1 を再び同じデバイスと接続するために、他のデバイス上でも消去する必要があります。



- ボタン 2 を 10 秒長押しします。
- » 設定メニュー
- ボタン 1 をすべてのペアリングを消去するために 6 回タップします。

MESH INTERCOM

05

MESH INTERCOM とは？	24
MESH INTERCOM を ON にする / OFF にする	24
OPEN MESH チャンネルを切り替える	24
GROUP MESH を作成する	25
コミュニケーションシステム V3 をMESH 通信に追加する	25
コミュニケーションシステム FIT-FOR-ALL をMESH 通信に追加する	25
OPEN MESH とGROUP MESH を切り替える	25
マイクروفオンを ON にする / OFF にする	26
MESH をリセットする	26

MESH INTERCOM とは？

Mesh Intercom は、事前にヘッドセットを相互にペアリングしておく必要なく、複数の車両のライダー間で簡単にコミュニケーションをとれるようにします。Mesh Intercom の通信有効範囲がオープンスペースで max 2 km 以内の場合、この Mesh を最低 6 名のユーザー間で max 8 km まで広げることができます。

2 名を超えるユーザーで相互通信を行いたい場合には、Mesh Intercom をお勧めします。Mesh Intercom デバイスを複数のメンバーと簡単にセットアップすることができ、多くの機能（例：同時通話）を利用できるからです。2 名のユーザーのみで通信を行いたい場合には、Bluetooth Intercom または Mesh Intercom という選択肢があります。両方のデバイスとも、Mesh Intercom 接続をサポートする必要があります。これを經由して通信を行うためです。

Open Mesh

Open Mesh を使用して、すべてのメンバーと Mesh 2.0 ネットワークで max 2 km の通信有効範囲内または最低 6 名のメンバーにより max 8 km までの範囲において通話することができます。Open Mesh 内の通話用に 9 つのチャンネルがあり、様々なグループで異なる周波数を使用してやりとりをすることができます。

Group Mesh

Group Mesh は、24 名までのメンバーによるクローズドなプライベートグループで、max 2 km の通信有効範囲または最低 6 名のメンバーによる max 8 km までの範囲における通話を可能にします。参加できるようにするには、すべてのユーザーがそれぞれ、グループに追加される必要があります。

MESH INTERCOM を ON にする / OFF にする**前提条件**

Com U1 は ON の状態です。



- ボタン 1 を 1 回タップします。
- » メッシュインターコムオン
- » LED（緑）が点滅します。
- » コミュニケーションシステムはチャンネル 1 の Open Mesh モードにあります。
- » Open Mesh チャンネル 1
- OFF にするには、ボタン 1 を 1 回タップします。
- » メッシュインターコムオフ

OPEN MESH チャンネルを切り替える**前提条件**

Open Mesh は ON の状態です。



- ボタン 4 を 2 回タップします。
- » チャンネル設定 1
- ボタン 1 または 3 を 1 回タップすると、チャンネルが前後にスクロールされます。
- » #
- » チャンネル 1～9 を選択できます。
- ボタン 2 を 1 回タップします。
- » チャンネルを設定しました。チャンネル #

- » それ以上その他のボタンが押されない場合、選択されたチャンネルが 10 秒後に自動的に登録されます。
- » コミュニケーションシステムが OFF にされた場合にも、チャンネルは登録されます。

GROUP MESH を作成する

前提条件

Open Mesh に 2 名以上のユーザーがいて、クローズドなグループを作成したい場合。



- 両方のコミュニケーションシステムでボタン **1** を 5 秒長押しします。
 - » Mesh グループを作成
 - » 両方のコミュニケーションシステムで Mesh グループ化が完了すると、ユーザーに音声案内で「Group Mesh」と通知されます。コミュニケーションシステムは自動的に Open Mesh から Group Mesh に切り替わります。
 - » Mesh グループ化に失敗すると、ユーザーに音声案内で「グループ作成失敗」と通知されます。
 - Mesh グループ化をキャンセルするには、ボタン **1** を押します。
- さらにそれ以上の通話参加者を Group Mesh のメンバーによって既存のグループに追加することができます。
- グループメンバーおよび新たに追加されるグループメンバーのコミュニケーションシステムのボタン **1** を 5 秒長押しします。
 - » Mesh グループを作成
 - » Mesh グループ化が完了すると、新しいユーザーのみに音声案内で「Group Mesh」と通知されます。コミュニケーションシステムは自動的に Open Mesh から Group Mesh に切り替わります。

- » Mesh グループ化が失敗した場合には、既存のメンバーにはビープ音 2 回、新しい通話参加者には音声案内「グループ作成失敗」で通知されます。

コミュニケーションシステム V3 を MESH 通信に追加する

i Com U1 の HD インターコムは、Device Manager 経由または Com U1 アプリ経由で走行開始前に OFF になっている必要があります。コミュニケーションシステム V3 を Mesh 通信に追加するためです。

i コミュニケーションシステム V3 は、ライダーとパッセンジャーの通話用のみ適しています。同じモーターサイクル上で Bluetooth Intercom を Com U1 とコミュニケーションシステム V3 間で使用すると、コミュニケーションシステム V3 を Mesh 通信に追加することができます。

ConnectedRide Com U1 ユーザーは、Bluetooth Intercom 経由でコミュニケーションシステム V3 を Group Mesh に追加することができます。

そのため、Bluetooth Intercom 接続を Com U1 とコミュニケーションシステム V3 間で確立する必要があります (▶▶▶ 30)。

コミュニケーションシステム FIT-FOR-ALL を MESH 通信に追加する

ConnectedRide Com U1 ユーザーは、Bluetooth Intercom 経由でコミュニケーションシステム Fit-for-All を Mesh 通信に追加することができます。

そのため、Bluetooth Intercom 接続を Com U1 とコミュニケーションシステム Fit-for-All 間で確立する必要があります (▶▶▶ 31)。

OPEN MESH と GROUP MESH を切り替える

前提条件

切替が必要になるのは、ユーザーがクローズドなプライベートグループとオープンなグループを切り替えたい場合のみです。クローズドなプライベートグループは切替後も登録保存されています。新しいクローズドなプライベートグループ用に、まず古いグループを削除する必要があります。ユーザーはす

26 MESH INTERCOM

にGroup Mesh に参加していた場合にのみ、Mesh 設定間での切替を行うことができます。



- ボタン 1 を 5 秒長押しします。
 - » ビープ音が 2 回聞こえます。
 - » Open Mesh または Group Mesh
 - » 接続設定は維持されます。

マイクフォンを ON にする / OFF にする

前提条件

Mesh Intercom は ON の状態です。

- ① マイクフォンは Mesh 通信でのみ OFF にすることができます。



- ボタン 1 を 1 秒長押しします。
 - » マイクフォンが ON または OFF になります。

MESH をリセットする

前提条件

Com U1 は ON の状態です。すべてのプライベート / クローズドグループが消去されます。



- ボタン 1 を 8 秒長押しします。
 - » Mesh がリセットされます。コミュニケーションシステムはチャンネル 1 の Open Mesh モードにあります。

BLUETOOTH INTERCOM

06

BLUETOOTH INTERCOM とは？	30
2 つのCOM U1 をBLUETOOTH INTERCOM でペアリングする	30
COM U1 をコミュニケーションシステム V3 とペアリングする	30
COM U1 をコミュニケーションシステム FIT-FOR-ALL とペアリングする	31
双方向通話を開始する／終了する	31
マルチウェイ通話を開始する／終了する	31
3 ウェイ電話会議通話を開始する／終了する	32
GROUP INTERCOM を開始する／終了する	32
BLUETOOTH-INTERCOM メンバーとのMESH INTERCOM 会議通話	33
UNIVERSAL INTERCOM を開始する／終了する	33
MESH INTERCOM 会議通話と UNIVERSAL INTERCOM	33

BLUETOOTH INTERCOM とは？

Bluetooth Intercom により、4名までのユーザーが同時に相互通信を行うことができます。ユーザーが2名から増えたら、装置の負荷を軽減するため、Mesh Intercom の利用をお勧めします。そのためには、すべてのメンバーがMesh Intercom 付きのコミュニケーションシステムを必要とします。Bluetooth インターコムは通信有効範囲は freespace で max 2 km 以内です。Bluetooth Intercom および Mesh Intercom は同時に使用可能で、相互に組み合わせることもできます。


2つのCOM U1をBLUETOOTH INTERCOMでペアリングする


前提条件

Bluetooth Intercom を使用して、コミュニケーションシステム 3 つまでを Com U1 とペアリングし、登録することができます。

前提条件

COM U1 は ON の状態です。

 通話参加者は逆の順序で通し番号が付けられます。すなわち、最後に接続されたメンバーが通話参加者 1 となります。

 最後に Bluetooth Intercom 経由でペアリングされたデバイスは、複数のデバイスが通信有効範囲内にある場合に、優先してつながります。



- 両方のコミュニケーションシステムのボタン 1 を 5 秒長押しします。
- » インターコムペアリング
- » LED (赤) が点滅し、ピープ音が 2 回鳴ります。デバイスが見えるようになり、他のコ

ミュニケーションシステムと自動的につながります。

- ペアリングが正常に行われた場合には、LED が青く 2 回点滅します。

COM U1 をコミュニケーションシステム V3 とペアリングする

前提条件

Bluetooth Intercom を使用して、コミュニケーションシステム V3 を ConnectedRide Com U1 とペアリングすることができます。そのためには、両方のコミュニケーションシステムを同時にペアリングモードにする必要があります。



- ボタン 1 (Com U1) を 5 秒長押しします。
- » インターコムペアリング
- » LED (赤) が点滅し、ピープ音が 2 回鳴ります。デバイスが見えるようになっています。
- 同時に、コミュニケーションシステム V3 を視覚モードにします：OFF ボタン + コミュニケーションシステム V3 のボタンを、点滅している速度が 1 回上がるまで押したまま保ちます。
- » Com U1 が他のコミュニケーションシステムと自動的につながる
- » ペアリングが正常に行われた場合には、ConnectedRide Com U1 LED が青く 2 回点滅します。
- Bluetooth Intercom を使用して、コミュニケーションシステム V3 は Group Mesh にも参加することができます (▶▶ 25)。

COM U1 をコミュニケーションシステム FIT-FOR-ALL とペアリングする

前提条件

Bluetooth Intercom を使用して、コミュニケーションシステム Fit-for-All を Connected-Ride Com U1 とペアリングすることができます。そのため、両方のコミュニケーションシステムを同時にペアリングモードにする必要があります。



- ボタン 1 (Com U1 の) を 5 秒長押しします。
 - » インターコムペアリング
 - » LED (赤) が点滅し、ピープ音が 2 回鳴ります。デバイスが見えるようになっています。
- 同時に、コミュニケーションシステム Fit-for-All をペアリングモードにします：中央ボタンを 5 秒押し続けます。
 - » コミュニケーションシステム Fit-for-All の LED が白く点滅し、ピープ音が 2 回鳴ります。
 - » Com U1 が他のコミュニケーションシステムと自動的につながります。
 - » ペアリングが正常に行われた場合には、ConnectedRide Com U1 LED が青く点滅します。
- Bluetooth Intercom 使用して、コミュニケーションシステム Fit-for-All は Group Mesh にも参加することができます (▶▶▶ 25)。

双方向通話を開始する／終了する



- ボタン 1 を 1 回、2 回または 3 回タップすると、通話参加者 1、2 または 3 と話すことができます。
- ボタン 1 1 回、2 回または 3 回タップすると、通話参加者 1、2 または 3 との通話が終了します。

マルチウェイ通話を開始する／終了する

前提条件

コミュニケーションシステムが相互にペアリングされています。

- ❗ マルチウェイ通話を利用することにより、4 名までの通話参加者が 1 つの通話に参加できます。
- ❗ Bluetooth Intercom は 2 名の通話参加者用にも推奨されています。3 名以上の通話参加者用には、Mesh コミュニケーションへの切替をお勧めします。



- ボタン 1 を 1 回、2 回または 3 回タップすると、通話参加者 1、2 または 3 と話すことができます。

- ボタン **1** を 1 回、2 回または 3 回タップすると、通話参加者 1、2 または 3 を通話に加えることができます。

i マルチウェイ通話の間は、ペアリングされているデバイス(携帯電話、TFT ディスプレイまたはオーディオプラットフォーム)のいくつかの無線接続は一時的に切られます。

- » さらに通話参加者を追加するには、その参加者が他の 2 名の通話参加者と接続されている必要があります。
- ボタン **1** を 1 回、2 回または 3 回タップすると、通話参加者 1、2 または 3 との接続が終了します。
- » すべての通話参加者との通話を同時に終了するには、ボタン **1** を 3 秒長押しします。

3 ウェイ電話会議通話を開始する／終了する

前提条件

既存の携帯電話の通話に通話参加者を 1 名追加することができます。



- 通話参加者 1、2 または 3 を電話会議通話に加えるには、ボタン **1** を 1 回、2 回または 3 回タップします。
- 通話参加者 1、2 または 3 を電話会議通話から外すには、ボタン **1** を 1 回、2 回または 3 回タップします。
- 携帯電話通話を電話会議通話から外すには、ボタン **1** を 2 秒長押しします。
- » 電話が終了し、電話会議通話がなくなります。Bluetooth Intercom への接続が確立されます。
- » 携帯電話通話中にインターコム経由で着信が入ると、ピーブ音が 2 回聞こえます。

GROUP INTERCOM を開始する／終了する

前提条件

Group Intercom 機能は、直近でペアリングされた 3 つの、近くにあるコミュニケーションシステムとのマルチウェイ会議通話を確立します。

前提条件


さらにその他のデバイスに Bluetooth 経由で接続することはできません。使用可能なすべてのチャンネルは Group Intercom 用に使用されます。

i Group Intercom 機能が選択されると、直近でペアリングされたすべての Group Intercom メンバーがその環境で通話できるようになります。たとえば 3 名のグループが作られるとします。このグループ内では、同時通話が可能です。あるメンバーがグループを離れると、そのメンバーは再び参加することができなくなり、新しいグループを開始する必要があります。




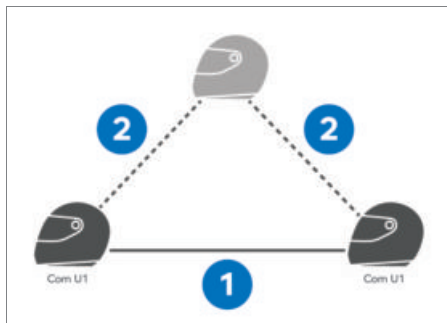
- ボタン **1** および **3** を同時に 1 回タップします。
- » グループインターコム
—すべてのコミュニケーションシステムが相互に接続されると、音声案内で「グループインターコムが接続されました」と通知されます。
- ボタン **2** を 5 秒長押しすると、グループ Intercom は終了します。
- » グループインターコムが終了しました

BLUETOOTH-INTERCOM メンバーと のMESH INTERCOM 会議通話

 Fit-for-All またはKom V3 機能を備えたコミュニケーションシステムは、Mesh Intercom 会議通話に参加可能です。この場合、状況によってはオーディオ品質の低下が生じることがあります。

Bluetooth-Intercom 機能と Mesh Intercom 機能は同時に使用することができます。すべての ConnectedRide Com U1 を Mesh Intercom と同じチャンネルまたは同じプライベートグループ経由で接続し、すべての他の BMW コミュニケーションシステムを Bluetooth Intercom 経由で接続することが、が推奨されています。それにより、通話参加者を双方向通信により Mesh に追加することができるようになります。

 Open Mesh または Group Mesh の使用時に 2 名またはそれ以上の通話参加者への接続が Bluetooth Intercom 経由で確立されると、状況によってはオーディオ品質が低下します。



Mesh Intercom **1** と Bluetooth Intercom **2** によって一種のクローズドなループが作られると、すべての通話参加者に著しいノイズ問題が生じます。

既存の Mesh Intercom 接続があるところで Bluetooth Intercom 接続が Mesh 通話参加者によってうっかりアクティブにされると、1 分に 1 回音声案内「メッシュインターコムが終了、Bluetooth インターコムが接続しました。」が流れます。

Bluetooth Intercom または Mesh Intercom を解除すると、音声案内は止まります。


UNIVERSAL INTERCOM を開始する／終了する

前提条件

Universal Intercom により、他のメーカーのコミュニケーションシステムとの接続を確立することができます。通信有効範囲は、接続されている Bluetooth デバイスの性能に応じて異なります。



- ボタン **1** を 10 秒長押しします。
- » 設定メニュー
- ボタン **2** を 3 回タップします。
- » ユニバーサルインターコムペアリング
- ボタン **1** を 1 回タップします。
- 他の Bluetooth デバイスのペアリングモードを有効にします。コミュニケーションシステムは自動的に他のデバイスに接続されません。

 他のメーカーの Bluetooth 通信機器が ConnectedRide Com U1 と Universal Intercom を介して接続されている場合、オーディオ品質が低下し、Bluetooth デバイスに接続できる数が少なくなるおそれがあります。

- » 双方向通信にさらにその他のコミュニケーションシステムを Universal Intercom 経由で Com U1 に接続することができます。

MESH INTERCOM 会議通話と UNIVERSAL INTERCOM

Universal Intercom 経由の双方向通信と Mesh Intercom は同時に使用することができます。Open Mesh を使用している場合でも、Group Mesh を使用している場合でも、通話参加者を Universal Intercom 経由で Mesh に追加することができます。そのために、Mesh Intercom への参加中に、Universal Intercom 経由での双方向通信が開始されます。その際に各 Com U1 は、さらなる通話参

34 BLUETOOTH INTERCOM

加者をUniversal Intercom 経由で追加することができます。新しい通話参加者のコミュニケーションシステムは、この機能をサポートしている必要があります。

電話

07

着信を受ける／拒否する	38
短縮ダイヤル番号を使用する	38
スマートフォン音声アシスタント	38

着信を受ける／拒否する





警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。

 通話中には、接続されている GPS デバイスによる音声案内は行われません。

 スマートフォン音声アシスタント（例：Siri、Google アシスタント）を利用して、着信を受けたり、拒否したりすることもできます。スマートフォン音声アシスタントは、スマートフォンが直接Com U1と接続されている場合にのみ使用できます。その間に他のデバイス（モーターサイクルのTFTディスプレイなど）が接続されている場合には、スマートフォン音声アシスタントは機能しません。



- ボタン 1 を 1 回タップすると、着信を受けます。
- ボタン 1 2 秒長押しすると、着信を拒否するか、着信を終了します。

短縮ダイヤル番号を使用する

前提条件

短縮ダイヤル番号の事前設定は Device Manager または Com U1 アプリで割り当てられます。



- ボタン 1 を 3 秒長押しすると、短縮モードが開始されます。
- » Speed ダイヤル
- ボタン 1 または 3 を 1 回タップすると、登録されている短縮ダイヤル番号を前後にナビゲートすることができます。
- ボタン 2 を 1 回タップすると、選択した短縮ダイヤル番号に電話することができます。
- » Speed ダイヤル #

スマートフォン音声アシスタント

ConnectedRide Com U1 は、スマートフォン音声アシスタントSiri およびGoogle アシスタントへの直接アクセスをサポートしています。Siri または Google アシスタントは、Com U1 マイクロフォン経由で適切な音声コマンドにより起動することができます（例：「Hey Siri」または「Hey Google」）。この機能を使用するには、音声アシスタントがスマートフォン上で有効になっており、Com U1 がスマートフォンと直接接続されている必要があります。

FM ラジオ

08

ラジオを ON にする / OFF にする	42
ラジオモードで音量を調節する	42
ラジオ放送局を切り替えます。	42
ラジオ放送局のサーチおよび登録を行う	42
自動サーチを使用してラジオ放送局を登録する	43
オート放送局サーチ	43

42 FM ラジオ

ラジオを ON にする / OFF にする

前提条件

Com U1 は ON の状態です。




- ボタン 1 を 1 秒長押しすると、FM ラジオが ON になります。
 - » FM オン
- ボタン 1 を 1 秒長押しすると、FM ラジオが OFF になります。
 - » FM オフ

ラジオモードで音量を調節する

前提条件

FM ラジオは ON の状態です。

 ボタン + および - はラジオモードで 2 つの役割が割り当てられています。1 つは音量の制御で、もう 1 つはサーチの実行です。



- ボタン 1 を 2 秒以上押し続けると、音量が大きくなります。
- ボタン 2 を 2 秒以上押し続けると、音量が小さくなります。

ラジオ放送局を切り替えます。

前提条件

FM ラジオは ON の状態です。




- ボタン 1 を 1 秒長押しすると、プリセットされている放送局がナビゲートされます。

ラジオ放送局のサーチおよび登録を行う

前提条件

FM ラジオは ON の状態です。

 Com U1 アプリまたは Device Manager では、その地域で利用可能な FM 周波数帯域でのサーチ機能が制限されることがあります。同様に放送局のサーチや放送局を登録することもできます。



- ボタン 1 または 3 を 2 回タップすると、放送局を前後にサーチします。
- ボタン 2 を 3 秒長押しすると、現在の放送局が登録されます。
 - » プリセット #
- ボタン 1 または 3 を 1 回タップすると、プリセットされている放送局が前後にナビゲートされます。

- ボタン 1 を 1 秒長押しすると、その時点のプリセット番号の放送局が登録されます。ボタン 3 を 1 秒長押しすると、放送局が消去されます。

自動サーチを使用してラジオ放送局を登録する

前提条件

FM ラジオは ON の状態です。




- ボタン 1 を 1 秒押したまま保つと、放送局のサーチが開始されます。
- » 放送局サーチは各放送局で 8 秒止まり、その後さらにサーチを続けます。
- ボタン 2 を 8 秒以内に一度タップすると、その時点での放送局が次のプリセット番号に登録されます。
- » プリセットの保存 #
- ボタン 1 を 1 秒長押しすると、自動放送局サーチは停止します。
- » サーチが停止し、登録されていないすべての放送局は次に ON にする際には外されています。

オート放送局サーチ

前提条件

FM ラジオは ON の状態です。

 Com U1 アプリまたは Device Manager では、その地域で利用可能な FM 周波数帯域でのサーチ機能が制限されることがあります。同様に放送局のサーチや放送局を登録することもできます。



- ボタン 1 を 3 回タップすると、オート放送局サーチが開始されます。
- » オート放送局サーチは自動的にラジオ放送局を 10 局まで一時的に登録します。既存のプリセットされているラジオ放送局が、この一時的なラジオ放送局サーチによる影響を受けることはありません。Com U1 が再起動されると、一時的にプリセットされているラジオ放送局は消去されます。
- ボタン 2 を 1 秒長押しすると、一時的にプリセットされているラジオ放送局がナビゲートされます。


音樂

09

音楽再生の制御

前提条件

Com U1 は ON の状態です。

 Com U1 がモーターサイクルの TFT ディスプレイに接続されている場合、音楽をモーターサイクルの TFT ディスプレイまたはマルチコントローラーで制御することもできます。





- ボタン 2 を 1 秒長押しします。
- » ヘッドセットがビープ音を 2 回発します。
- » 音楽再生が開始または一時停止されます。
- ボタン 1 または 3 を 1 秒長押しします。
- » 現在の楽曲が早送りまたは早戻しされます。

音楽をシェアする

前提条件

音楽用デバイスとして、たとえば ConnectedRide Com U1 とペアリングされている携帯電話などを使用することができます。

 音楽はもう 1 名の別のメンバーとのみシェアすることができます。音楽のシェアを承認した最初のメンバーが、その音楽を聴きます。

 音楽のシェアは Mesh Intercom 経由で行うことをお勧めします。音楽の再生中にコミュニケーションをとることも可能だからです。音楽は Bluetooth Intercom 経由でもシェアできます。その場合、通話はできなくなります。Bluetooth Intercom 経由での音楽のシェアが終了すると、再び通話可能になります。

- 音楽再生用に ConnectedRide Com U1 を携帯電話または他のデバイスと接続します。
- ConnectedRide Com U1 をその他のコミュニケーションシステムと接続します。



- ボタン 1 を 3 秒長押しします。
- » ミュージックシェアオン
- » Mesh Intercom を使用して音楽をシェアする場合、メンバーに「ミュージックシェアを開始しても良いですか？」という確認が行われます。
- 音楽はその他のメンバー 1 名とのみシェアすることができます。最初に承認したメンバーが音楽を聴きます。
- ボタン 2 を 1 回タップすると音楽のシェアに同意することになり、1 秒長押しするとシェアを拒否することになります。
- » 音楽は Bluetooth インターコム経由で、あるいは最初に問い合わせに同意した Mesh Intercom メンバーとシェアされます。

ソフトウェア設定

10

環境設定

Com U1 アプリおよび Device Manager で、ConnectedRide Com U1 用の様々な設定方法を使用することができます。

デバイス言語

ConnectedRide Com U1 用に他の言語を 1 つ設定することができます。

音声コマンドは以下の言語でサポートされています：

- ドイツ語
- 英語
- フランス語
- スペイン語
- イタリア語
- 日本語
- 中国語
- ロシア語

音声コマンドを使用できない言語が選択されると、英語音声コマンドのみが機能します。他の言語の音声コマンドのリストについては、Com U1 アプリをご確認ください。

音声コマンドの信頼性は、走行速度、ヘルメットタイプ、周囲の騒音のような周囲条件によって異なります。パフォーマンス向上のため、同梱のマイクロフォンアタッチメントをご利用ください。

選択された言語は、通信機器を一旦 OFF にしてから再び ON にした場合でも維持されます。

オーディオコライザー

オーディオコライザーはデフォルトで OFF になっています。様々な周波数帯域のデシベルレベルを以下のように調整することができます：

- Balance：すべての周波数帯域が同じ音量に調整されます (0 dB)。
- Bass Boost：低音域が強くなります (20～250 Hz)。
- Mid Boost：中音域が強くなります (250 Hz～4 kHz)。
- Treble Boost：高音域が強くなります (4～20 kHz)。

VOX 電話

VOX 電話機能により、着信を任意の音声コマンド (例：「大きな声で」) やマイクロフォンに息を吹きかけることにより受けることができます。VOX 電話機能はデフォルトで ON になっています。この機能は、インターコムが接続されていたり、モーターサイクルの TFT ディスプレイやナビゲーション機器が接続されている場合には、一時的に OFF になります。この機能が OFF になっている場合には、着信を中央のボタンを操作することにより受ける必要があります。

VOX インターコム

この機能により、最後に接続された通話参加者との通話を開始することができます。開始するには、任意の音声コマンド (例：「大きな声で」) やマイクロフォンに息を吹きかけることで十分です。音声コマンドによって通話が開始された場合、両方の通話参加者が 20 秒何も言わないと、通話は自動的に終了します。VOX インターコムはデフォルトでは OFF になっています。

通話がボタンを押すことにより手動で開始された場合には、やはり再びボタンを押すことによって終了する必要があります。音声コマンドによって通話が開始されたのに、中央のボタンを押して終了すると、インターコムは音声コマンドでは再び ON にすることができなくなります。この場合には、まず再び中央のボタンを押すことにより、ON にしなければなりません。それにより、インターコムが風切り音などによって思いがけず ON になることが防がれています。

VOX 感度

VOX 感度は周囲条件に合わせて調整することができます。レベル 1 (低感度) ～レベル 5 (高感度) 間で選択可能です。この機能はデフォルトではレベル 3 に設定されています。

インターコムオーバーレイの感度

インターコムオーバーレイの感度の設定により、どのくらいの大きさの声で話すか、音楽の音量が下がるか、その感度を制御することができます。

インターコムでの通話中には、音楽、FM ラジオ、GPS の音量が低減されます。この機能により、インターコムの感度を調整することができます。レベル 1 (低感度) ～レベル 5 (高

感度) 間で選択可能です。この機能はデフォルトではレベル 3 に設定されています。通話中の声を選択された感度レベルを上回らない場合、オーディオオーバーレイの音量調整は行われません。

オーディオオーバーレイによる音量管理

この機能が ON になっている場合には、インターコムでの通話時に重なったオーディオ再生の音量は低減されません。

この機能はデフォルトでは OFF に設定されています。

HD インターコム

この機能はデフォルトでは ON に設定されています。マルチウェイ通信の開始またはオーディオマルチタスク機能の起動により、この機能は一時的に OFF になります。

この機能が OFF になると、双方向通話の音声品質は通常の品質になります。

HD インターコムの通信有効範囲は従来のインターコムを下回ります。

HD ボイス

この機能はオーディオ品質を向上させます(電話用を除く)。HD ボイスが ON になっている場合、インターコム経由でのメンバーとの 3 ウェイ電話会議通話を利用できません。HD ボイスが OFF になっている場合、インターコム経由での通話は着信によって中断されます。HD ボイスはデフォルトで ON になっています。

HD ボイスが ON になるのは、Bluetooth Intercom 用のオーディオマルチタスク機能が OFF になっている場合のみです。

HD インターコムの通信有効範囲は従来のインターコムを下回ります。

Bluetooth デバイスのメーカー(例：スマートフォンのメーカー)は、そのデバイスが HD ボイスをサポートしているかどうかについての情報を提示することができます。

インテリジェントな音量コントロール

インテリジェントな音量コントロール機能により、スピーカーの音量は自動的に周囲の様々な音の大きさに合わせて調整されます。この機能はデフォルトでは OFF に設定されています。レベルは小、中、大に調整できます。

サイドトーン

サイドトーンはデフォルトでは OFF になっています。この機能は、インターコムまたは電話を使用しての通話中にユーザーに対して音響的なフィードバックを行うことにより、自身の声を聞くことができるようにするものです。

音声案内

音声案内は下記の言語で使用できます：

- ドイツ語
- 英語
- フランス語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- 日本語
- 中国語
- 韓国語
- ロシア語
- ポーランド語
- フィンランド語
- チェコ語

音声案内はデフォルトで ON になっており、ソフトウェアの環境設定で OFF にすることができます。ただし、以下の音声案内は OFF にすることができません：

- 環境設定用の設定メニュー
- バッテリー充電レベル
- 短縮ダイヤル
- FM ラジオ機能

RDS AF 設定

最初の信号が弱すぎる場合には、Radio Data System Alternative Frequency (RDS AF) を使用してレシーバーを 2 番目の周波数に切り替えることができます。この機能はデフォルトでは OFF に設定されています。

FM 放送局情報

FM 放送局情報が ON になっている場合、プリセットされている放送局を選択しているときには FM 放送局の周波数が音声案内によって通知されます。FM 放送局情報が OFF の場合、プリセットされている放送局が設定されているときに FM 放送局周波数に関する音声案内は流れません。

52 ソフトウェア設定

Advanced Noise Control

Advanced Noise Control は、通話中にインターコムを通じて通話相手に伝わる背景ノイズを低減します。この機能はデフォルトでは ON に設定されています。

お手入れ

11

CONNECTEDRIDE COM U1 を清掃する

- コミュニケーションシステムは必ず汚れなどの付着していない清潔な布を使用して清掃してください。

トラブルシューティング

前提条件

ConnectedRide Com U1 の操作時にエラーや問題が発生した場合には、以下の手順がトラブルシューティングに役立つでしょう：

- ConnectedRide Com U1 およびすべての Bluetooth インターフェースデバイスに最新のファームウェアがインストールされているかを確認します。(▶▶▶▶ 12)
- 正常に実行された、有効なペアリングがあるかを確認します。(▶▶▶▶ 18)
- ペアリングで問題が発生している場合には、すべてのペアリングをConnected-Ride Com U1 およびすべての Bluetooth インターフェースデバイスから削除し、新しい接続を確立します。(▶▶▶▶ 18)
- それでもまだConnectedRide Com U1 でエラーや問題が発生する場合：Connected-Ride Com U1 を工場出荷時設定にリセットします。
- すべてのトラブルシューティングを実施しても問題が解決されない場合：
 - » BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。

テクニカルデータ

12

ボイスコマンド	60
一般的な情報	61
無線接続	61
インターコム	61
バッテリー	61
ラジオ	62

ボイスコマンド

概要	
Google 音声アシスタントを呼び出す	「Hey Google、...」は、音声アシスタントを使用可能な場合のみ
Siri 音声アシスタントを呼び出す	「Hey Siri、...」は、音声アシスタントを使用可能な場合のみ
バッテリーを点検する	「Hey Sena、バッテリー点検」
音量を大きくする	「Hey Sena、音量アップ」
音量を下げる	「Hey Sena、音量ダウン」
携帯電話をペアリングする	「Hey Sena、携帯電話ペアリング」
Bluetooth Intercom	
Bluetooth インターコムをペアリングする	「Hey Sena、Intercom ペアリング」
Bluetooth Intercom を開始する／終了する	「Hey Sena、Intercom [1、2、3]」
Mesh Intercom	
Mesh Intercom を ON にする	「Hey Sena、Mesh ON」
Mesh Intercom を OFF にする	「Hey Sena、Mesh OFF」
Mesh グループ化	「Hey Sena、Mesh グループ」
Open Mesh に切り替える	「Hey Sena、Open Mesh」
Group Mesh に切り替える	「Hey Sena、Group Mesh」
Bluetooth インターコムと Mesh Intercom を終了する	「Hey Sena、Intercom 通話終了」
音楽	
音楽再生を開始する	「Hey Sena、音楽 ON」
音楽再生を一時停止する	「Hey Sena、音楽停止」
次のタイトル(トラック)	「Hey Sena、次へ」
前のタイトル(トラック)	「Hey Sena、前へ」
FM ラジオ	
FM ラジオを ON にする	「Hey Sena、FM ラジオ ON」
FM ラジオを OFF にする	「Hey Sena、FM ラジオ ON」
次のプリセット	「Hey Sena、次へ」
前のプリセット	「Hey Sena、前へ」
電話	
着信を受ける	「応答」
着信を拒否する	「拒否」

一般的な情報

周囲温度範囲	-10...55 °C、走行時 0...45 °C、充電プロセス時
メインユニット	
重量	65 g
寸法	97 mm x 48 mm x 27 mm

無線接続

伝達力	Bluetooth クラス 1
周波数範囲	2.402...2.480 GHz
伝送モード	FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
Bluetooth スタンドアード	5.0
Bluetooth クラス	Class I
Bluetooth プロトコル	ヘッドセット、ハンズフリー、A2DP、AVRCP

インターコム

Bluetooth Intercom	
Range	max 2 km、フリースペースにおいて
ユーザー数	最大 4 名の通話参加者
Mesh Intercom	
テクノロジー	Mesh 2.0 Intercom
Range	max 2 km、フリースペースにおいて max 8 km、最低 6 名の通話参加者
Open Mesh ユーザー数	通話参加者数に制限なし
チャンネル数	9 チャンネル
Group Mesh ユーザー数	最大 24 名の通話参加者

バッテリー

バッテリー型式	リチウムポリマー
バッテリー容量	900 mAh
充電ソケット	USB-C
チャージ電圧	5 V
チャージ電流	max 1 A
充電時間	1 h
急速充電機能	20 分の充電時間で Bluetooth Intercom 6 時間または Mesh Intercom 3.5 時間

62 テクニカルデータ

通話時間

Bluetooth Intercom	max 13 h
Mesh Intercom	max 8 h

ラジオ

周波数範囲	76...108 MHz
登録番号数	10 放送局の登録番号

64 索引

B

Bluetooth, 5
Bluetooth Intercom, 30
3 ウェイ電話会議通話, 32
Group Intercom, 32
Mesh Intercom 会議通話, 33
Universal Intercom, 33
インターコムのパ어링
を行う, 30
双方向通話, 31
マルチウェイ通話, 31

G

GPS, 19

L

LED ステータスメッセージ, 13

M

Mesh Intercom
Bluetooth-Intercom メンバ
ーとの会議通話, 33
Group Mesh を作成する, 25
Group Mesh, 24
Mesh をリセットする, 26
OFF にする, 24
ON にする, 24
Open Mesh チャンネルを切り
替える, 24
Open Mesh と Group Mesh の切
替, 25
Open Mesh, 24
マイクロフォンを ON にする
／ OFF にする, 26

O

OFF にする
コミュニケーションシステ
ム, 13
ラジオ, 42
ON にする
コミュニケーションシステ
ム, 13
ラジオ, 42

あ

アプリ, 12

お

音楽再生制御, 46
音量, 14

か

環境設定, 50

き

記号と意味, 4

け

健康に関する注意, 5

こ

工場での調整, 14
コミュニケーションシステム
OFF にする, 13
ON にする, 13
音量を調整する, 14
工場出荷時設定, 14
情報, 4
設定メニュー, 15
リセット, 14

し

充電式バッテリー, 12

せ

設定メニュー, 15
全体図
操作ユニット, 9
納入範囲, 8

そ

操作部
概要, 9
環境設定, 50
納入範囲, 8

た

短縮ダイヤル, 38

て

電話
2 番目の電話をペアリング
する, 19
3 ウェイ電話会議通話, 32
拒否する, 38
終了する, 38
受信する, 38
操作する, 38
短縮ダイヤル番号, 38
ペアリングする, 18

の

納入範囲, 8

は

廃棄処理, 5

ふ

ファームウェア更新, 12

へ

ペアリング, 18
2 番目の電話, 19
A2DP プロファイル, 19
GPS, 19
拡張されたペアリング, 19
注意事項, 18
電話, 18
ハンズフリープロファイ
ル, 19
メモリーを消去する, 20

ま

マイクロフォン
ON にする／ OFF にする, 26

み

ミュージックデバイス
音楽をシェアする, 46
操作する, 46

ら

ラジオ
OFF にする, 42
ON にする, 42
オート放送局サーチ, 43
放送局のサーチ, 42
ラジオ放送局を切り替え
る, 42
ラジオ放送局を登録す
る, 42

り

リセット, 14